

第7回 南成瀬地区新たな学校づくり基本計画検討会 議事要旨

開催日時	2022年8月23日（火） 9：30～11：32	
開催場所	町田市立南成瀬小学校 2階 なんなるルーム	
出席者 (敬称略)	委員	尾上委員、緑川委員、井伊委員、戸木田委員、柴田委員、福土委員、 中村委員、小山委員、沖委員、赤澤委員、上野委員、小室委員、○隅田委員、 山本委員、◎木下委員、木原委員（◎会長 ○副会長）
	事務局	教育総務課、新たな学校づくり推進課、施設課、学務課、保健給食課、指導 課、教育センター、防災課 (委託業者) 株式会社教育施設研究所
傍聴者	1名	

議事内容

副会長 本日は、木下会長がオンラインでの出席のため、町田市新たな学校づくり基本計画検討会設置要領に基づき、本日は会長代理として議事の進行をする。

1 第6回基本計画検討会の振り返りについて

新たな学校推進課 (資料1 説明)

委員 通学路を歩いて気が付いたこと、お願いしたいこと、ぜひやってほしいということ
を簡単にまとめた。次回の検討内容に盛り込んでいただきたい。

新たな学校推進課 後ほどそちらの資料を頂いた上で担当者と別途調整をさせていただきたい。

2 学校の統合と学区の再編に伴う学区外通学について

学務課 (補足資料、資料2-1、2-2 説明)

委員 例えの説明をしてくれるともっと分かりやすい。次回からそのような説明で願
いしたい。

副会長 具体例を添えてということですね。ご意見として今後の参考にしたい。

3 南成瀬地区の学校統合に伴う避難施設機能について

防災課 (資料3 説明)

委員 アンケートの目的をもう一度教えてもらいたい。誰宛てに、どんな方法でどのよ
うに報告して、誰に向けてやっていることなのか。この検討会で報告ができること
なのか。

防災課 この検討会は、新しくできる学校のことについて話し合う場と考えている。防災
に関しては、基本的には防災課で主催している避難施設関係者連絡会で詳しい話を
したい。地域の皆さんがどこへ逃げるのかは、自主防災組織の中で決めていると思
う。防災課からは自主防災組織に対してどこへ逃げますかというアンケートを行う。
返ってきた結果に基づいて、自主防災組織を集めて、避難施設関係者連絡会を行う。
統合や工事が始まる前に、避難訓練などをしてほしいというお話があると思うので、南

二小の工事が始まる前、2023年中にはアンケートを実施して、24年に避難訓練などをやる場合には間に合うようにしたい。

基本的に避難については、自主防災組織でやっていると考えている。町内会と大体は同じ組織でやっているのかなと思う。町内会のほうでそのお話をしていただければと思う。

委員 組織率が低いことや、PTAの中にも会に入っておられない方が大勢いるというふうにお聞きしている。そちらの方々も含めてアンケートの実施を考えていただきたい。

防災課 町内会に加入されていない方がどのように動くかは町内会でも分からないという話がある。この方々たちを全部防災課のでこうしてください、どうですか、その希望に沿って避難施設を運営していきますというのはなかなか言えない状態。お知らせは常に全市民を対象にしているが、町内会に入っていない、自主防災組織の活動に参加していただけないという方もいる。できる限りお知らせはするが、全ての方にアンケートを取ってというのは難しいと考えている。

委員 恩田川が氾濫危険水位になるかもしれないといったときに、中央町内会の会員が100名ほどなるせ駅前市民センターに避難した。中央町内会にとって、風水害での避難場所には、南二小は向いていない、南成瀬中も向いていない。中央町内会では川を渡っての避難はできないから、上になるとなるせ駅前市民センターになる。

総合体育館は風水害時のみ。総合体育館は恩田川氾濫の際、地下が水浸しになって機械が全部買い直しということになった。総合体育館は地震のときにも利用できるようにならないのか。

防災課 総合体育館は、大きな地震があったときはボランティアの方々に市外から集まっていたいただいて、ここから派遣していくという別の大きな役割を持っている。なかなか避難者と一緒というのは難しいということで風水害時のみとしている。

今のお話は、学校統合の計画が出たときも意見として結構上がっていたと思う。そのあたりは跡地活用などでもお話をいただければ検討できるかと思う。

委員 新しい学校を建設するため今の学校を壊すときに、半分を解体して半分だけ避難施設として残して、解体したところが更地になったところでそこを避難所にして、反対側をやるということはできないのでしょうか。

施設課 校舎を半分解体して、半分解体した後、そこへ新校舎を建てて、そちらができてから残りを解体するという順序だとなかなか工事のスケジュール上難しい。

委員 それが難しいのであれば、防災課の方は、アンケートをすとか、丸投げ感があり、もう少し防災課から提案が欲しい。アンケート任せにするのではなく、町田市側が主体性を持って動いていただきたい。

会長 これから跡地活用の検討の中で検討されていくことだとは思いますが、例えば南成瀬小の体育館、原則は全部取り壊しということだが、体育館のみは残して避難施設として活用できるようにするという事はできないのか。

防災課

本町田地区で検討会を行ったときも同様の質問があった。体育館には最近、非常用発電機や空調設備などを整備した。他にも敷地内にマンホールトイレや応急給水栓という耐震化された水道管などもある。校舎のほうは老朽化して危険だという話を学校から伺っているが、体育館はできる限り跡地が決まるまででも残して使えるようにというのを学校と協議して検討していきたい。

委員

3点、質問がある。まず1点目は、避難所開設の会合を南成瀬小学校でも近々予定されているが、新しい形になるのにそのままの状況でするのか、統合した後の例えば南成瀬小学校を管轄とする各町内会の人たちが集まるのか、避難所開設のする意味や時期や、なぜ今やるのかという話が出ているので教えていただきたい。

2点目は、圧倒的にキャパが減る。南成瀬小学校の体育館が残るが、そこにずっとはいないと思う。1度はそこに避難する方もいらっしゃると思うので、もう少し何かご検討いただければありがたい。

最後に、防災倉庫が学校にあるが、統合したら圧倒的に全員分は網羅していないのは十分分かっているが、今後どのようにしていくのか。

防災課

避難施設関係者連絡会については、統合を見据えてなるべく早い時期にというお声もあるかもしれないし、場合によっては、いつ災害が起きるか分からないから早くやってくれというお話もある。これは、地域のお声によってやっていくしかないというのが実情である。例えば、今の時期に感染が怖いからやりたくないというお声が強いところについては、無理して集まってくれというのでも防災課からはお願いしていない。統合を見据えて早めに新たな形で訓練を行いたいということであれば、そういう形で調整をしたい。例えば、明日とか来週起こったためのために訓練をしたいということであれば、現状のまま、この辺はお声を聞きながらという形になるかと思う。南成瀬小学校では、次の開設訓練の予定も決まっていると思うが、もしその辺も内容を検討したいということであれば、訓練の日までにその辺を変更してもいいかなと思っている。まだ話し合いをする時間はあると思うので柔軟に対応したい。

統合された後に、入れないんじゃないかというご心配をされているかと思うが、今は体育館とか特別教室を避難場所として既に想定しているが、できる限り普通教室なども使えるように学校のほうにお願いしながらやっていく。新しい学校をつくるに当たって、普通教室でも避難スペースとして使うときに使いやすいような教室のつくりを考えてほしいという話をこの後していただければ、今までの学校よりも大きな形で避難施設として、たくさんの方が収容できるような施設として使える。その辺はできる限り防災課のほうでも学校と調整していきたいと考えている。

倉庫の内容とか量についても、新しい学校ができるときに避難施設に入れるだけの人の分の備蓄品や装備が入るような倉庫と一緒に設計していただくように学校と調整していく。

委員

もし断水などになった場合に給水車とかを止められるようなスペースというのは町田市のほうで決まっているのか。

防災課 学校にも断水になったときに地域の皆さんが取りにこられるであろうというペットボトルの水などは用意している。学校の敷地には応急給水栓という耐震化された水道管があり、そこで水をくんでいただくということはできると思う。

4 新たな学校の避難施設機能について

委託業者 (資料4-1～4-2 説明)

[ワークショップ]

Aグループ まず第一義として、学校機能を最優先にしたときに避難所機能もしっかりできるようにすることかという質問から始まった。案をある程度示しながら意見を伺っているが、ほかの案について意見を伺うと違う意見が出てくるかもしれないので、そのあたりは配慮してほしいという意見をいただいた。

避難所の機能を集約するというので、水道施設やトイレ等が避難所の周辺にしっかりあることが大事だということと、体育館は1階というようなご意見があった。マンホールトイレは多めに必要だという意見や、テントを校庭に張るのであればテントはしっかり確保できるのか、テントで暮らすには床がしっかりとしているのかという意見があった。

他にも畳の部屋が欲しい、敷地への出入口は避難のために何か所か欲しいが、一方で児童の安全性を考えるとたくさん門があるのはどうなのかという意見があった。他にも、体育館の中にもパーソナルスペースが確保できるテントのようなもので仕切っている空間が必要だというような意見があった。

Bグループ まず、恩田川が近く水害対策として体育館は2階以上に配置を検討してほしい。開放できるようなグラウンドの出入口を設けてほしいという意見があった。また、災害時の際にも使えるような外から入りやすい屋内トイレを設置してほしいという意見があった。その他に、避難所の環境として、例えば障がい者の方や妊婦の方、小さいお子さんやけがや治療を要する方が避難する場所を設けてほしいという意見があった。食物アレルギー用の備蓄の倉庫も別途欲しいという意見があった。女性が安全に入れるトイレのスペースも欲しいという意見があった。

そのほかの意見として、今回は地震と風水害を同時に説明したが、地震と風水害時の2パターンで検討したほうがよいのではないかという意見があった。

他にも通信関係をなるべく2・3階に置くとよいという意見をいただいた。

副会長 Aグループ、Bグループそれぞれ風水害、地震等のケース、それぞれの想定の下、必要な施設、あるいは設計上の配慮事項についていろいろと意見をいただいた。このあたりをぜひ今後の設計等に生かしていただきたいとともに、教育機能、避難施設機能、地域開放機能、この辺の折り合いというものを配慮していただけたらと思う。

5 南成瀬地区の新たな学校名の選定について

新たな学校推進課（資料5-1～5-2 説明）

[ワークショップ]

Aグループ

Aグループは、成瀬小学校、南さくら小学校、さくら小学校、南成瀬第二小学校、南第二小学校とかわせみ小学校が出てきた。

成瀬小学校は主に地名ということで、この地域の場所にある学校ということが分かりやすい、アンケートも1位という意見をいただいた。また、南第二小学校とも被るが、成高学舎から始まって成瀬学校と歴史が続いてきたところでも成瀬という名前は、続いてきたものがあるという話があった。

続いて、南さくら小学校とさくら小学校では、恩田川沿いにある桜が地域の特徴として、観光名所にもなっていることから、この辺りにある学校というのが分かりやすいという意見をいただいた。

また、さくら小学校については平仮名でいただいたが、書きやすさや小学校1年生から書ける親しみやすいという視点をいただいた。また、市内に平仮名の小学校が現在ないことから、良い意味で目立つのではないかというご意見があった。

そのようなところから、新しい学校ということで新しい学校名が挙がった。

続いて、南成瀬第二小学校については両校の思いを酌んでというところで、意見募集の中でも小学生の皆さんが併せた形で書いていただいているのが実際にある。

続いて、南第二小学校は、旧校名というところだが、学校の場所が同じであるというところや、今既に知られている場所であるというところ、地図や標識も変えずに済むという視点から。他にも、古くからの歴史があるというところでの意見があった。

かわせみについては、川沿いにカワセミがいて、いろんな方が見たり写真を撮っていたりというような特徴的なところからいただいた。

Bグループ

学校名で一番多く挙がったものは成瀬小学校だった。地名を大事にしたいという思いと、子どもたち等の意見募集の結果も数が多かったというところもあり意見として挙げていただいた。

挙がった学校名に含まれている単語として、桜や恩田川という小学校周辺の特色というところから、学校名に含めたほうがいいのではないかという意見をいただいた。意見募集の結果や、その小学校が大体どこに位置する小学校なのかというイメージが湧きやすいというのは大事ではないかというところを意見として挙げていただいた。

地名を大切にする、地域の周辺の特色を大事にしたい、子どもたちの意見、意見募集をきちんと踏まえて意見をいただいた。

副会長

本日ここで出された考え方や視点を踏まえて、先ほど提案のあった流れで、話し合いを進めていきたいと思う。

新たな学校推進課 学校名について、ご意見をありがとうございました。ワークショップで今回出た意見について、今発表したのは、あくまでも理由をその場でキーワード化したものをご紹介させていただいた速報版だと思っている。事務局でいただいた理由、内容を精査させていただき、来週中頃をめどにキーワードをしっかりとまとめて共有させていただく。

まとめた資料と今回お渡ししている資料5-2の意見募集の結果等を踏まえていただき、次回の検討会までに、学校名の案を1案考えてきていただきたい。

6 第8回基本計画検討会開催概要

新たな学校推進課 2022年9月20日火曜日 9時30分～ 南第二小学校

7 閉会

副会長 (挨拶)